

普通のカゼや従来のインフルエンザとは
 こんなにも違います。

「新型インフルエンザ」

新型インフルエンザとは？

新型インフルエンザウイルスとは、鳥類のインフルエンザウイルスが人に感染し、人の体内で増殖できるように変化し、人から人へと効率よく感染できるようになったもので、このウイルスが感染して起こる疾患が新型インフルエンザです。従来のインフルエンザが、まったく別の型に変化したものです。



新型インフルエンザの症状？

新型インフルエンザの症状は誰も予測困難です。何故ならまだ経験したことがないからです。しかし、新型インフルエンザに変異することが懸念され、東南アジアなどで発生している人での高病原性鳥インフルエンザの症状から予測すると、発熱、咳など、一般的なインフルエンザの症状に加え、下痢などの症状もありますし、肺炎の合併例では致死率は60%以上となっています。



通常のワクチンは効きますか？

通常のインフルエンザの予防接種は、新型インフルエンザとはウイルスの種類が異なるため、感染防止の効果はほとんど期待できません。新型インフルエンザに対して効果が期待できるワクチンとして、プレパデミックワクチンとパンデミックワクチンがあります。

プレパデミックワクチンとは、新型インフルエンザウイルスが大流行(パンデミック)を起こす以前に、トリ-ヒト感染の患者または鳥から分離されたウイルスを基に製造されるワクチンを指します。政府は現在流行している鳥インフルエンザウイルス(H5N1)に対するワクチンをプレパデミックワクチンとして製造、備蓄しています。

パンデミックワクチンとは、ヒト-ヒト感染を引き起こしているウイルスを基に製造されるワクチンです。プレパデミックワクチンと異なり、ワクチンの効果はより高いと考えられます。ただし、パンデミックワクチンは実際に新型インフルエンザが発生しなければ製造できないため、現時点で製造、備蓄は行えません。



広めよう! インフルエンザの

予防と対策

インフルエンザとは、インフルエンザウイルスの感染によっておこる病気です。インフルエンザにかかると38度以上の発熱、頭痛、筋肉痛など全身症状が強く、高齢者では気管支炎、肺炎などを併発し、重症化することが多いのが特徴です。また、潜伏期間が短く感染力が強いことも特徴で、短期間に爆発的に流行し、乳幼児から高齢者まで多くの人を巻き込む大変危険な感染症です。今回のBe Wellでは、その予防と対策について説明します。

咳エチケットは
 予防の要!



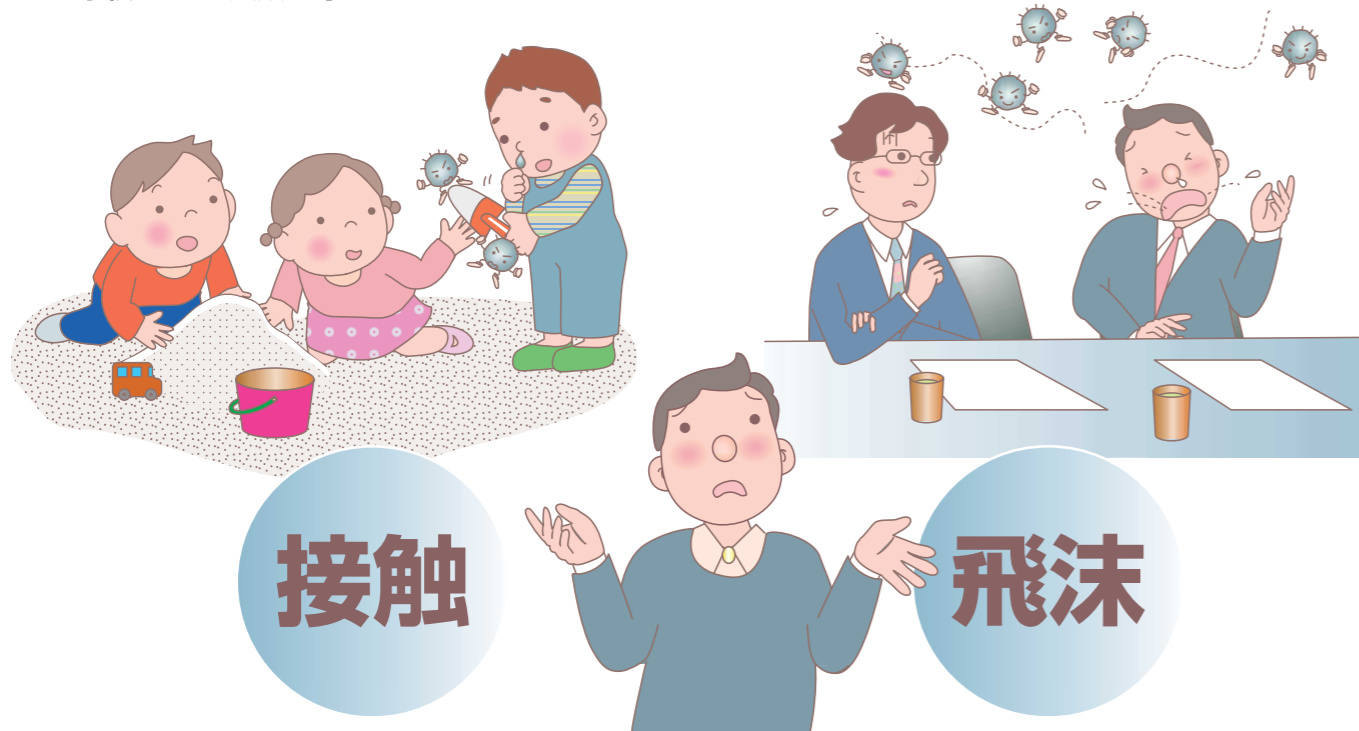
インフルエンザとは？

インフルエンザウイルスがヒトに感染して引き起こす感染症で、風邪様症状に加え、突然の発熱、筋肉痛や全身倦怠感など全身症状の強いことが特徴です。まれに、肺炎や脳炎などを起こすこともあります。

風邪の症状 + 突然の発熱 筋肉痛 倦怠感

感染経路について

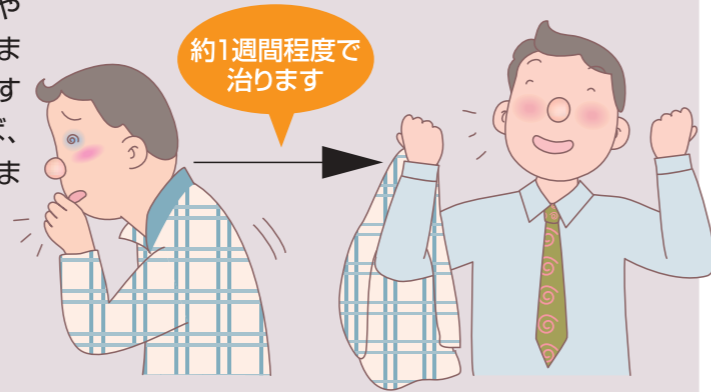
感染した人の咳、くしゃみ、つばなどの飛沫が、目や口腔・鼻粘膜に飛散したり、あるいはこれらの咳の飛沫や鼻汁で汚染された環境や手にウイルスが付着して、汚染された手を目や鼻の粘膜に接触させることで感染します。つまり、インフルエンザの感染は、接触感染と飛沫感染の2種類であるということです。手洗いは、あなたとあなたの家族、そして人類を守るかもしれません。



インフルエンザと普通のかぜとの違いは？

普通のかぜの症状は、のどの痛み、鼻汁、くしゃみや咳（せき）などが中心で、全身症状はあまり見られません。発熱もインフルエンザほど高くなく、重症化することはほとんどありません。健康な成人であれば、安静にしているだけで数日から1週間程度で治りますので、抗生物質などは全く不要です。

のどの痛み 鼻汁 くしゃみ 咳



咳エチケットを実施しましょう

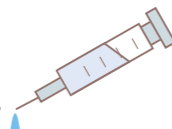
咳やくしゃみがある場合は、マスクを着用することで、口や鼻から飛散する飛沫をマスクでブロックできます。抗菌マスクや抗ウイルスマスクである必要は全くありません。また、くしゃみをするときは、ハンカチあるいはティッシュペーパーで、鼻と口を覆い、飛沫が飛ばないようにします。咳をするヒトの近くにいるときは、相手にマスクをしてもらうようにします。あるいは自分がマスクをすることで、鼻や口の粘膜への曝露を防止できます。



インフルエンザに感染しないための予防と対策

予防接種

インフルエンザにはワクチン接種が有効です。



インフルエンザは毎年少しずつ変化してゆくため流行する型を、前年に流行したウイルスから推測しワクチンの種類を決めます。よって、予防接種を受けたら絶対にインフルエンザにかからないというわけではありません。成人の場合、インフルエンザの発病阻止率は70%~90%ぐらい、小児の場合はさらに低くなります。

手洗い

接触感染を抑える、石けんと流水での手洗い。

仕事の前後での手洗い、トイレ後の手洗い、食事前の手洗い、帰宅時の手洗いは、極めて重要です。とにかくこまめに手を洗うことで、接触感染を最小限に抑えます。



京都府医師会のホームページでは、▶▶ <http://www.kyoto.med.or.jp>

予防接種実施機関が検索できます

トップページ → 医療サービス案内「予防接種関連情報」 → 「予防接種実施関連機関検索ページ」

インフルエンザを拡げないためには

インフルエンザは容易に人から人に感染するため、他人にうつさないことも重要です。インフルエンザに感染して症状のある人は、病気の悪化や周囲への感染を防ぐために、自宅で休養することが重要です。無理して仕事をするのは、他人へ感染させることになり、感染拡大を助長することになります。